

■意外と重要『曇り空』の時の判断■

強い日射しが降り注ぐピーカンの晴天であれば暑いのは当然、誰だって対策無しではキツイと思うだろう。しかし、曇り空でなんとなく日射しが弱いように見えたら、しめたと感じて対策グッズを置いて家を出るかもしれない。荷物は少しでも減らしたいのは当然だ。

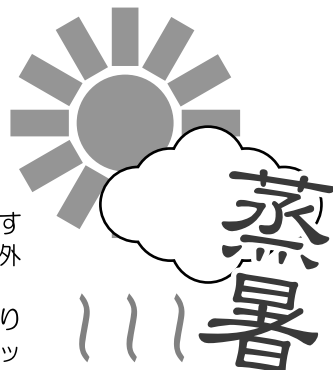
しかし、それは早計に過ぎる。もちろん、どんより曇って今にも雨が降り出しそう、という場合なら当然雨対策を優先して考えるべきだが、薄曇りでどうも蒸し暑い、という天気だったなら、その時は晴天の時と同じ日射しや熱中症対策をしていった方がよい。

東京近郊で真夏の薄曇りの天候の時は、晴天時とさほど変わらない気温に加えて湿度が高く、風もあまり吹かないというケースが多い。

こういった時には汗が蒸散せず、また湿度が高いために熱が体にこもりやすいので、実は熱中症の危険は晴天時よりも高まるくらいなのだ。さらに、紫外線は薄い雲なら透過してしまうので、普通に日焼けもする。

なので、日射しは無くても日除けや帽子は忘れずに、汗拭きタオルや拭き取り化粧紙も必携。できれば扇子、うちわ、携帯扇風機など自分で風を作れるグッズも用意しておきたい。

また、曇っている以上、そこから雨に変わる場合もあり得る。もし屋外で待機している時に急に涼しい風が吹いてきた、雲が濃くなって薄暗くなってきた、遠くでゴロゴロと雷の音が聞こえた、などの兆候があったら、この後雨が降り出すかもしれない。雨具をすぐ出せるようにしておくなどの備えをしよう。



●ビギナーに夏の長時間待機は、正直オススメできません。

ここまで読んできたビギナーさんは、なんだかえらい場所に行こうとしているのではないかと思うかもしれない。残念ながらそれは事実だ。つまりはそれくらいには長時間の待機はキツイので、初参加者や体力・準備に自信のない参加者は、できるだけ正午頃に会場に到着するように時間を調整して来場することを強く推奨する。

その頃に会場に到着すればほぼ並ばずに入場できるので待機装備は最小限で済むし、待機時間で体力を消耗してしまうこともないので入場してからフルパワーで活動できるとメリットは多い。悪天候ならなおさらだ。

現在の入場方法では、未明から並んでも、開会以降に並んでも入場できる時間には1時間ほどの差しか生じない。しかも未明から並んだところで、望みの物が確実に入手できるとは限らないのだ。勘違いしてはいけない。入場待機はあくまで本番ではないのだから、しなくて済むならわざわざキツイ思いをしてまで並ぶ必要は全くないのだ。

■コミケットに何を持っていくかという話■

コミケットにどんな持ち物を持参するべきかは参加者にとって尽きない問題だろう。

Comi-Naviでも持ち物リストを公開している。Comi-Naviの持ち物リストはモジュール化という考え方で作られている。これは、持ち物そのものだけでなく、『どうやって持ち運ぶか』をも考えて構成したものだ。荷物は必要性に応じて分割して装備することで、身体の一部に大きな負荷がかかることを避け、同時に自分にも周囲にも邪魔な大荷物をコンパクトにしようという考え方だ。

もちろん、参加する日程、時間、訪れるジャンル、参加者の体力などによって最適な装備は人それぞれ異なってくる性質のものだ。そのため、このリストでは最大限の持ち物を挙げてある。これをベースに、自分なりの最適解を考えてほしい。

※ネット上で当Comi-Naviの装備リストをオススメして下さっている方へ。
現在旧版の持ち物リストが多く配布されていますが、最適化の意味でも、
今後は是非、この新版リストをお使い下さい。



■夏コミ用持物リスト■ <http://www.comi-navi.com> 内
『過去の記事など』コーナーより